

～親の夏期講習★2010～

みんなの宿題回答集

編集：佐々木敬一

【宿題1】

- あなたのお子さんの長所を10個以上書きだしてください。
 - お子さんが二人以上いる場合は、それぞれのお子さんにつき、10個以上書いてください。
 - もちろん、多ければ多いほどいいです。
-

1. やさしい
2. 休まないで学校へ行く
3. 部活と勉強を両立している
4. 親にきちんとあいさつする
5. 親の話を素直に聞く
6. 解るまで頑張る
7. だらしないけどきれい好き
8. 母親思い
9. 自分から勉強する
10. 正直

*

小4娘(一人っ子)

1. 明るい
2. 元気・活発
3. くよくよしない
4. 気持ちの切り替えが早い
5. 好奇心旺盛
6. おおらか
7. プラス思考
8. 頑張り屋
9. まじめ
10. 親切
11. やさしい
12. 協調性がある
13. 正義感が強い
14. 物おじしない
15. 気配りができる
16. しっかりしている
17. 積極性がある

*

長女高3

まじめ
物ごとに動じない
タフである
目標をやり遂げる
大きな声で笑う
人の気持ちを考える
何度も見直し忘れ物をしない
食べ物に不服を言わない
母親の手伝いをする
中高皆勤賞
健康

長男 中2

物つくりをコツコツやる
用心深い
スキーが上手
記憶力がいい
母親に優しい
姉思いな面がある
ひらめきが早い
人の観察を浴している
漫画だけでなく小説も読み始めた
食べ物の好き嫌いが無い

*

長男(中2)

- ・弟以外の皆に優しい
- ・まじめ
- ・怒らない
- ・ゆっくりしている
- ・マイペース
- ・「ありがとう」と自然に言える
- ・頑張り屋さん
- ・どこでも眠れる
- ・慌てない
- ・愚痴らない

次男(中1)

- ・まじめ
- ・マイペース
- ・人に左右されない

- ・一人で行動できる
- ・頑張りやさん
- ・思い立ったらすぐに行動する
- ・負けず嫌い
- ・何でも理解しようとする
- ・冷静で慌てない
- ・お笑い番組が好き
- ・クイズを解いたり作ったりするのが好き

*

中2 長女の長所

- ・優しい
- ・正義感が強い
- ・真面目
- ・穏やか
- ・慎重
- ・丁寧
- ・気を配れる
- ・楽天的
- ・謙虚
- ・流されない

小4 長男の長所

- ・優しい
- ・正義感が強い
- ・真面目
- ・穏やか
- ・慎重
- ・負けず嫌い
- ・冷静
- ・素直
- ・気が利く
- ・几帳面

*

親元を離れ、予備校で頑張ってる息子の長所

- ・自分で決めたことは、やり通す
- ・友達からの信頼が厚い
- ・努力家
- ・学習成績もまずまずの結果を出してきた
- ・協調性がある

- ・自己分析がある程度できる
- ・まじめ
- ・出過ぎない
- ・慎重派
- ・スポーツができる
- ・字が丁寧
- ・几帳面
- ・おしゃれ

吹奏楽部でがんばっている高校1年生の娘の長所

- ・慎重
- ・誠実
- ・まじめ
- ・我慢強い
- ・やさしい
- ・気配りができる
- ・協調性がある
- ・がんばりや
- ・人の話を聞いてあげる
- ・大らかな面がある

*

①小1女

- ・明るい
- ・元気
- ・授業を静かに受ける
- ・歌がとても上手
- ・絵がとても上手
- ・世話好き
- ・素直
- ・好奇心旺盛
- ・可愛いものが大好き
- ・踊りが上手
- ・優しい
- ・大胆

②保育園5歳

- ・明るい
- ・元気
- ・慎重
- ・自分の実力を知っている

(↑ある意味スゴイんですが、親としてはもっと子供らしく？無鉄砲でも良いと思います)

- ・歌が上手
- ・絵が上手
- ・踊りが上手
- ・素直
- ・人にモノを分け与える
- ・コツコツしっかりやる
- ・優しい

*

- 長女 ・生まれてきてくれてありがとう
- ・大きな病気 怪我もなく元気に育ってくれてありがとう
 - ・人に優しく思いやりを持った子に育ってくれてありがとう
 - ・たまに間抜けなことをして笑わせてくれてありがとう
 - ・周りに流されず自分を持った子に育ってくれてありがとう
 - ・最後まで諦めず努力をする根性のある子に育ってくれてありがとう

- 長男 ・生まれてきてくれてありがとう
- ・大きな病気 怪我もなく元気に育ってくれてありがとう
 - ・人に優しく思いやりを持った子に育ってくれてありがとう
 - ・いつもママのことを心配してくれてありがとう
 - ・親が世話を焼かなくても自から行動してくれてありがとう
 - ・責任感の強い子に育ってくれてありがとう

*

長女の良いところ(大学1年)

- 1 かわいい
- 2 優しい
- 3 絵がうまい
- 4 健康
- 5 素直
- 6 純粹
- 7 暗記が得意
- 8 音楽が好き
- 9 物を大切にする
- 10 物欲がない
- 11 感性が豊か
- 12 センスがある
- 13 お父さんが好き
- 14 きちんとしてる
- 15 字がうまい
- 16 流行に左右されない

*

長男の良いところ(中3)

- 1 明るい
- 2 元気
- 3 健康
- 4 おもしろい
- 5 優しい
- 6 好奇心旺盛
- 7 機械に強い
- 8 耳がいい
- 9 素直
- 10 純粋
- 11 かわいい
- 12 いつも笑顔
- 13 挨拶ができる
- 14 感性が豊か
- 15 ご飯を沢山食べる姿がカッコイイ
- 16 頼りになる

【宿題2】

- ・プチ自分史の作成→提出の必要なし
 - ・プチ自分史を作って得た「気づき」を文章にしてメールで提出
 - ・箇条書きでOK
-

- ・子供に対して「早く、早く」とせかしているが、自分自身もよく親から「トロイ」とか鈍いといわれていた。
- ・母が、パートで働いていたため学校から帰って母親がいない日はとても寂しかった。
- ・つまらないものやくだらないものを集めて喜んでた。
- ・部屋の片づけが出来なかった。
- ・ピアノの練習がいやで、お稽古を辞めてしまった。
- ・いまの娘とあまり変わらない。

*

今回プチ自分史を掘り起こしてみても、私の場合、家族関係がおおいに自分に影響を与えていることがわかりました。

私は両親と4歳違いの姉との4人家族で育ちました。

ふだんは真面目なのに時々酒癖が悪くなる父、
明るくて子どもに優しい強い母、
しっかり者で勉強もスポーツもできる姉に囲まれて、
可愛い女の子であれば心地よくいられると
いつのまにか私は思うようになっていました。

小学校高学年から中学時代の私の親友も
やっぱりしっかり者で、賢い女の子でした。

今でも控えめで優しいと言われる私は
ずっと強くて賢い人に憧れているように思います。

たぶん、それは普段は真面目なのに
時々お酒に飲まれてしまう父の弱さを絶対許せないと
思っていたからだと思います。
でも結局その父に似ている大人しくて弱い自分が好きになれずにいました。

その後、父は病気をしてからお酒を断ち、
10年以上一滴もお酒を飲んでいません。
そして、私も少しずつ自分に自信を持つようになり、
ようやく最近弱かった父のことを許せるようになりました。

今回宿題2を頂いて、私が、自分に厳しくて賢い人に憧れる理由が分かりました。
ありがとうございました。

*

私は、私の父親が好きではありません。はっきり言って嫌いと言うべきなのかもしれません。

ですから、結婚をし子どもの父親になるとときには、常に私の父親像を意識しながら
子どもを育てよう、行動しようと努めてきました。

私の父は常に自己中心的で、自分の考えに沿わないと平気で人前でもどなり散らします。

自己中心的というのは、小さな意味ではなく大きな意味での自己中心的です。ですから、
朝起きてから夜寝るまでのすべての生活の中で自己中心的なのです。母親、子どもにとっては

非常に居づらい家庭環境です。しかし、勉強についてだけは、勉強をしろとか、
口やかましく言われた記憶はありません。

子どもと接するとき、子どもたちと話し合いをするときは必ずと言って、自分の父親を意識しながら
自分の子供だけには嫌われるような日頃の言動をしないようにしています。

具体的に話し出すと、本も出せるような長い話になりますので、抽象的な言い回しでやめておきま
す。

私たちの子供のころには、記憶の残るたくさんものがありました。

駄菓子屋で買ったペッタ(パッタ)やベイゴマ、5円のくじ、ギンギン赤い人口着色料を使用したス
モモ、白黒放送のナショナルキッド、スーパージェッター、初めて買ってもらった中古の自転車、な
どなど

今思えば日本が一番高度成長をしていたころでした。日本の昔の時代の何十倍も速い速度で
日々過ごしていました。今の時代はコンピューターの時代になり、それでも本格的に情報量が
とてつもなく多くなり始めたのはここ10年くらいの間です。本格的に普及しだしたのがここ20年
すから。

時代の流れがとてつもなく早い現代と思いきや、私の子供のころの高度成長時代も、
今と変わらぬ速さで社会が変わっていったのでしょうか。しかし子供のころの記憶というものは、
時代の変化の速さとは関係なく、しっかり素朴に確実に記憶に残っているものなのです。

そのように考えると、いつの時代もその時代時代に生きている人にとっては、以前の時代とは考えられないほど速い速度で進んでいるのかもしれない。

宇宙が誕生して60億光年とも70億光年ともいわれますが、たとえその長い歴史の流れのほんの1点にすぎなくとも、人の記憶の歴史は変わらないと思います。

好きなところで遊び、好きな人に出会い、好きなものを食べ、好きな人生を横臥する。それが記憶に残り、子孫に少しずつ受け継がれていくのだらうと思います。

自分(親)の経験に捉われることなく、原木の芯さえしっかりしていれば(生きる道を外さなければ)、せめて自分子どもには何事も経験させてみることも、親心ではないだろうか。

母親から見れば失格なのかもしれませんが、しっかりいい父親をしているつもりです。

*

プチ自分史を書いてみて気付いたことは

自分の子供の頃は 私に日々怒られながらも一生懸命頑張っている我が子達に比べてるともっと暢気に過ごしていたように思います。

同じ立場に立ってみれば・・・と 頭では理解しているのですが 上の子の反抗期も重なりつついつい急き立てることばかりの毎日に 子供はどんどん自信ややる気をなくしているように思いました。

これからは 信じて見守ること 心掛けようと思います。

ありがとうございました。

*

・今娘に対してあれこれと「注意」しているが5歳の時から正しくないことをしている人に「注意」していた。

ということは、「注意」するのは一種の癖か性格からきている行動なのかもしれない。

・子どもの頃親に叱られるのがいやで、勉強や運動をがんばっていたが、本当は褒めてほしかった。

でも褒められることが余りなかったから、今娘を褒めるのが少し苦手になっているのかもしれない。

*

太っていたので容姿や運動にコンプレックスをもっていた。

小中とも親が厳しかったので親の目を気にしていたように思う。

小学校高学年から以降は親に心配かけてはいけないという気持ちで、相談事はあまりしていな

かった。

＊

- ・3人姉妹の長女なので、真ん中の次女とは何か張り合っていたなあ。
次女と3番目の弟が、年も近いこともあり、仲が良かったのがうらやましかった。
 - ・母も、私には長女でしっかりしているから、妹のことをいじめたりすると「姉さんやろ・・・」と強く、言われたことがあります
何だか、いやな思いをした。
 - ・小学生の頃までは、引っ込み思案だったので、そのことを両親から攻められはしなかったが、担任の先生あてに
そうしたコメントをしているのを聞き、自分はそうなんやと受け止めていた
- ただ、中学生頃から、だんだん積極的になり、(勉強が良くできる方で、クラス委員なども任されたこともあり)両親もそのことを、ことある毎にほめてくれたのは、うれしく自信に繋がった。
- ・高校生の頃、交通事故に遭い、母親が特に非常に心配してくれたことは、たいへんありがたうれしかった。
 - ・自分は、なんやかんやとあれども、両親から守られ慈しみ育てられてきたんだなあとしみじみ思う。

＊

私は低学年時に剣道をやっていたため、
子どもにもスポーツをやってもらいたいと思っていました。

子どもは空手をやっていましたが、だんだん嫌がるように。
自分の時も、最初は面白くて参加していたけど、
だんだんとイヤイヤ行っていたことを思い出しました。

子どもがやめたいと言ったときに、自分のことを棚に上げて
いたことに気がきました。

また、勉強面でも、やろうと思っているときに、親から
早くやりなさいと言われると、やる気をなくしていました。

それなのに、今、親として同じことをやっていることに気づきました。
もっと、子どもを信頼し、見守っていくようにしたいと思います。

＊

- ・「恐れ」を常に抱いてて、それを克服しようとしていた。
- ・それでも常に「人」は好きだった。

- ・主体的に行動した事は、例外無く良い結果になってた。
- ・いつも好奇心に溢れていた。
- ・ずっと自信が無かったので、所謂「カッコ良さ」に憧れていた。

【宿題3】

あなたが子どものとき、親にしてもらって(あるいは、言ってもらって)嬉しかったことを出来るだけたくさん書き出してください。

母の日のプレゼントに心込めて「ありがとう」といってもらった事(母の表情も含めて)

結婚式の時母から「本当にキレイ」といってもらった事

あとテストが良かったりすると褒めてもらえて嬉しかった。

基本は厳しい両親だったのでいつももっと褒めて欲しい気持ちを持って過ごしていたように思います。

*

・クラスでいじめられていると泣いて訴えた時、「世界はとても広いのだから狭いクラスの事など気にする必要はない」と言われて気が楽になった。

・高校1年まで髪を結ってくれた

・母が自分のセーターの毛糸を使ってセーターを編んでくれた。

・父がかまくらや竹スキーを作ってくれた。

・入試の時妹抜きで父や母と二人だけになったこと。

・「信頼している」と言われたこと。

*

・手伝いをしたときに「ありがとう」「助かった」等、感謝の言葉をかけてくれたこと

・勉強やスポーツで頑張っていることを認めてくれたこと

・家の手伝い等で頼りにしてくれたこと

・悪いことをしたときでも、頭ごなしにおこるのではなく、話(言い訳)を聞いてくれたこと

・失敗してもおこらなかったこと

・スポーツ少年団や友達遊び等、無条件で希望をかなえてくれたこと

・さかな釣りに連れて行ってくれたこと

*

「おはよう」「おやすみ」「行ってらっしゃい」「おかえり」
を、いつも言ってくれた事。

*

- ・小さい頃、仲良しの従姉妹とのお出かけの同伴者はいつも叔母ではなく母であったこと
母と一緒に安心できたから
- ・家族で旅行に行ったこと
- ・参観日するとき、目が合うと満面の笑顔で微笑んでくれたこと
- ・学校から帰宅すると、プリンをよく作ってくれていたこと
- ・4月のクラス替えのあと、慣れないクラスのことを愚痴ると「すぐに慣れるよ。いつもそうだから」と言って家事をしながらよく話を聴いてくれたこと

*

- ・旅行に連れて行ってくれたこと
- ・器用といわれたこと
- ・夜寝る前に部屋に来て声を掛けてくれたこと。

- ・物心つくころから、テレビの簡単な文字をよく読んでいたと、長じて母親から聞かされてうれしかった

*

- ・勉強がよくできることを、ほめてもらったこと

- ・中学生のころ、定期テストでは、常にほとんど5位以内に入り、連絡簿もオール5に近いもので、それを、父親が職場の同僚に(当時、父親は市役所の教育関係の課にいた)も見せ、それを見た同僚からもほめられたと、また喜んでくれたこと。

- ・近所の方から、私がよく勉強ができるんやねとほめてくれることを、うれしそうに話してくれたこと

- ・高校受験の際、受験番号をもしや書き忘れたのではと心配しながら合格の報を待っている間、同じように心配してくれた母親と
今までの実力を信じて、合格を信じ切ってた父親の思いに触れたとき

- ・一浪しながら、第一志望大学に合格したことを、涙を流して喜んでくれた父親の姿を見た時。

勉強のことでほめられたことばかりが、印象に残っていますが・・・

*

- ・温泉に連れて行ってもらったこと
- ・勉強しろと言われなかったこと
- ・子どもたちのために働いたこと
- ・授業参観は母親でしたがいつも来てくれたこと
- ・3食食事をさせてくれたこと
- ・小学校まで一緒に風呂に入ってくれたこと
- ・賞状などを取っておいてくれたこと
- ・中古自転車を買ってくれたこと
- ・夕方遅くまで外で遊んでいても怒らなかったこと

【宿題4】

「救出ポイント発見法」をstep1～3に従って実践し、メールで送る

救出ポイント発見法

【step1】

あなた自身が不得意なこと、苦手なことを出来るだけたくさん書き出す

【step2】

不得意なこと、苦手なことをやった時の感情を思い出し、書き出す

【step3】

その時、身近な人にどう接してほしかったかを考え、書き出す

step1.

子ども、学生時代

- ・国語の作文、読書感想文
- ・数学、科学、物理
- ・英語の長文読解
- ・美術

現在

- ・絵を描くこと
- ・物事を整理して順序だててゆっくり話すこと
- ・初めての道路での車の運転

step2.

やりたくない。先延ばしにしたい。 難しくて嫌い。

step 3.

上からの目線ではなく、私と同レベルの位置に来て、
丁寧に私に分かるように教えてほしかった。

(大人になってから、苦手だった車の車庫入れは友人に丁寧に教えてもらってマスターできた。
私の分からないところをよくわかってくれて、バカしないで素晴らしい教え方だった)

この宿題して、エラそうに上から目線で子どもの勉強を見ている自分が
なんてイヤな奴なんだろうと思いました。反省です。
ありがとうございました。

*

Step 1 球技系

Step 2 苦手だから楽しくない ボールが当たると痛い

Step 3 誰にでも得て不得手があるので 黙って見守って欲しかった

*

今回の宿題で、目の覚めるような思いをしました。

どういうわけか、わかっているのに今まで私は娘に対して自分が嫌だと思ふことばかりしていました。

Step1 車の運転

体育

音楽

パソコン

Step2 緊張する、ドキドキする、うまくできるか…と不安な気持ち。

自信がない、はずかしい、どうせ出来ない。出来ればやりたくない。逃げたい。

自分はベストを尽くしたのに怒られて腹が立ったり落ち込んだり。

次第に、出来ないものだと開き直る。

Step3 自分でも出来ないことは分かっているので、強い口調で否定するのではなくやさしく声を

かけてもらいたかった。

失敗や出来なかったことは事実だけれども、頑張った事や頑張ろうと努力したことを認めた
うえで、アドバイスをしてくれたり

時には一緒に作業や練習をしてもらいたかった。

出来ない・だめだなどの否定語を連発しないでほしかった。(自分は出来なくてだめだという
気持ちが独り歩きをして、肯定的な言葉を受け入れる余地がなくなっていった)

宿題にはありませんでしたが、反対にこんな態度でますます落ち込んだり、やる気をなくしたり反感を感じたりしました。

頭ごなしに怒ること。見放したような言葉や態度をされたこと。

(勉強したり、経験したしたことがあるので)当然「出来るよね」というような、威圧する態度。

*

1. 運動が苦手

(逆上がり。短距離走など)

人見知りするほうで、友達を作るのも苦手

2. 本当に心細い気持ち、やらずに逃げ出したい気持ち

2. いい方法があつたら、周りの人に教えて貰いたいような頼る気持ちがあるが、

そうでなければ、そっとしておいて欲しいと言う気持ち。

*

STEP 1 あなた自身が不得意なこと、苦手なこと

- ・人前で冗談や笑わせること。
- ・マラソン(長距離)
- ・本を読むと眠くなる
- ・運動すること(メタボ解消)→昔は体を動かすことが何より好きでした。
- ・人の気持ちを聞かないで、自分の感情を押しつけてしまう。

STEP2 その時の感情

- ・いろいろな話をしなければと思い焦ってしまう。もう話をしたくない。
- ・走りたくない。ごまかしてでも走らなくてよい方法を考える。(短距離走は得意)
- ・眠くてたまらない。せっかく本を読もうと思ったのに、睡眠薬代わりに本を読んでしまった。
- ・汗っかきなので、下着まで汗をかき、何回も着替えるのが面倒だ。汗をかくと仕事にならない。
- ・ちょっと言い過ぎたと思う。あっ また言ってしまった。

STEP3 その時、身近な人にどう接してほしかったか。

- ・焦らなくても、しっかり聞いているから大丈夫だ。落ちついて話をして。
(最近、言っている話の内容が突然と記憶から飛ぶときがあります。
えっ 何の話をしていたのかな?と突然忘れます。)→年なのでしょうか?
- ・走らなくても違う運動で体力をつければいいのに。
- ・
- ・自分自身のためなんだから、頑張って運動してほしい。着替えの下着を余分に持ってきてさえすれば、洗濯は奥さんにしてもらえるのだから、しっかり運動して。
- ・自分の意見をもっとしっかり言ってほしかった。

*

①【ピアノ発表会、英語発表会】

- ②一人でやるのが、とにかく怖かった。
 - ③複数の人とやりたかった。
- 失敗しても大丈夫であって欲しかった。

①【段取り、料理】

- ②頭が真っ白になる。
- ③レシピや事例があるとできるので、
幾つか提示して、やってみせ、
自分がやってみる。

①【数学(高校)】

②頭が真っ白になる。

③わかるスピードで、紐解いて学びたかった。

①【初対面で自分から話し掛ける】

②ソワソワしてしまう。

ひたすら「待つ人」だった。

③気軽に話し掛けて欲しかった。

↑※今になれば、自分がそうすれば済む話であった。

①【学校の体育(スポーツは好き)】

②やりたくない。

③色々なコツや、適材適所?で、少しずつ伸ばしていきたくかった。